

1. 衝撃試験の概要：

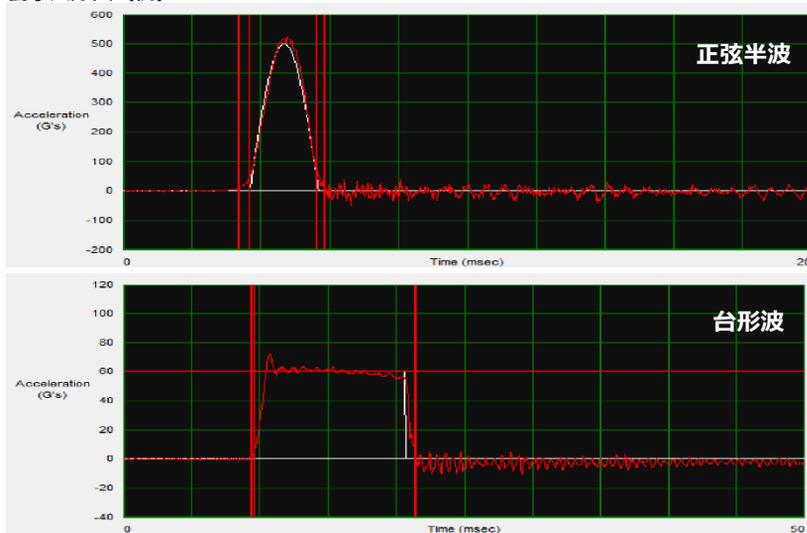
- ・この規格は、輸送中や荷扱い中、もしくは、使用中に衝撃を受ける製品や部品等の衝撃試験方法について規定されています。
- ・この試験方法は、主に包装していない供試品及び輸送用ケース内の供試品を対象としています。
- ・専用エラストマーを装着することにより、作用時間の長い衝撃試験の実施が可能です。



衝撃試験機：Model 65/81

| 装置仕様 | |
|--------|------------------------------------|
| 試験台寸法 | 810×650 mm |
| 最大加速度 | 600 G (5,880 m/s ²) |
| 最大積載質量 | 227 kg |
| 最大速度変化 | 7.3 m/s |

衝撃パルス (例)



対応可能な試験条件 (正弦半波)
*専用エラストマー装着時

| | ピーク加速度 (g) | 作用時間 (msec) |
|---|------------|-------------|
| ① | 150 | 6 |
| ② | 100 | 6 |
| ③ | 100 | 11 |
| ④ | 50 | 11 |
| ⑤ | 50 | 18 |
| ⑥ | 30 | 18 |

※上記以外の試験条件をご検討の際は、お問い合わせください。

JBLでは、電気、電子、精密機器、産業機器、医療、医薬、自動車、輸送をはじめとするほぼ全ての業界から様々な試験のご依頼を頂いております。年間800件以上の試験を実施し、計画立案から報告書作成まで一貫してサポートしております。包装試験、包装資材・設計に関する専門知識と高度な技術で、多くの企業から高い評価を受けています。

